

2022 年度アカデミック・ライティング科目履修 よくある質問 *

「アカデミック・ライティングの基礎」と「アカデミック・ライティング演習1」の履修に関して分からない点や迷うことがあったら、まず以下のFAQを確認してください。

A. 履修や手続きについて

1. 初回授業前に履修のための手続きは必要ですか？
 - ・「基礎」は ☞履修登録期間に**仮登録**すること。多数の場合抽選。仮登録以降の手順については第一週授業でも説明する
 - ・「演習1」は ☞**春学期・秋学期の開講クラスとも**、新年度開始の時点で履修を申し込むこと。事前申し込みは、4月1日（金）～4月4日（月）17:00の間受け付けます。多数の場合抽選。詳しくは、追って教養教育センターウェブサイトならびに学内ポータルサイト「Port Hepburn」、(「【アカデミック・ライティング科目】履修申込の方法と履修相談(2022)」)として通知する
2. どの曜時限を選べばいいのでしょうか？
 - ・必修科目など所属学科が履修を求める科目と重ならないよう、各自時間割を確認する
 - ・開講クラス数の多い曜時限（コマ）ほど当籤しやすい傾向も参考にすること
3. 自分の時間割（必修科目）はどこで分かるのでしょうか？
 - ・「Port Hepburn」の時間割で各自確認する（同じ必修科目でも履修者ごとに曜時限が異なることがある）
4. 『明治学院共通科目ガイダンス ハンドブック』の要注意時限リストでは「▲」が付いていますが、「Port Hepburn」の時間割には授業が入っていません。この曜時限に「演習1」（または「基礎」）を履修できるのでしょうか？
 - ・必修科目や選択必修科目では、複数の開講曜時限の中から、学籍番号などにより一つを割り当てられる場合も多く、「▲」「△」の曜時限に学科の必修科目・選択必修科目などが入っていない学生もいる。各自の「Port Hepburn」上の時間割に授業が入っていなければ申込みすることができる
5. 「基礎」と「演習1」のどちらを履修すればいいのでしょうか？
 - ・書くスキルの習得にじっくり取り組みたいければ、「基礎」→「演習1」と両方履修することをすすめる
「基礎」☞ 入門的内容で、レポート課題はないが、毎回小テストがある（通常定員75名）
「演習1」☞ 学期中6～7回ほどレポートを執筆し、スキルがよく身につく（定員15名）
6. どの学期に履修すればいいのでしょうか？
 - ・「基礎」も履修するなら、「演習1」は「基礎」を履修する学期の翌学期以降に履修する（「演習1」と同じ学期や、「演習1」の履修後に、「基礎」は履修できない）
 - ・春学期の「基礎」は高倍率となりやすい傾向も参考にできる（とりあえず1年次に「演習1」を履修しないなら、秋学期の「基礎」がねらい目になる）

【参考】上手な履修の例

学期	例A	例B	例C	例D	例E
1年春	基礎	基礎	↓	演習1	↓
1年秋	演習1	↓	基礎		基礎

2年春		演習1	演習1		
-----	--	-----	-----	--	--

7. 担当の先生を選ぶことはできますか？
 - ・できない
8. 内容的に自分の所属する学科の科目と重複しませんか？
 - ・学科により「アカデミックリテラシー」「基礎演習」などでライティング指導がある
(ただしレポート・ライティングに特化して学べるのは、いまのところ「基礎」と「演習1」のみ)
9. 卒業単位にカウントされますか？
 - ・選択科目(単位数は学科ごとに指定される)としてカウントされる(「基礎」と「演習1」はすべての学生が履修できる「明治学院共通科目」)
10. 留学生は「基礎」および「演習1」を履修できますか？
 - ・正規留学生は、留学生専用の「アカデミック・ライティングの基礎」「アカデミック・ライティング演習1」を履修すること(追って教養教育センターウェブサイトならびに「Port Hepburn」で詳細を通知)
11. 指定されたurlから「演習1」の「事前申込フォーム」に辿りつけませんが、どうしたらよいですか？
 - ・一度ブラウザを再起動し、「事前申込フォーム」が表示されるまで何度か更新を試みる(キャッシュクリアのしかたがわかれば、試みる)

B. 授業形態について

12. 毎回教室での対面式となりますか？
 - ・「基礎」は ☞ 教室での履修者の発話のない授業内容とし、毎回対面実施する。ただし春学期水曜第4限および第5時限のみ担当教員の事情により、毎回オンライン遠隔実施の予定である
 - ・「演習1」は ☞ グループワークなど、履修者どうしの発話をとまなう一部授業回のみ、事前周知のうえオンライン遠隔授業とする
13. 大学全体が遠隔授業に、あるいはその後対面授業に転換するばあい、この科目の形態はどうなりますか？
 - ・大学全体の方針にそって機動的に対面にも遠隔にも転換できる
14. 対面授業とオンライン遠隔授業で、指導内容や到達点に違いは生じませんか？
 - ・対面でも遠隔でも進度、指導内容そのものは同じであり、到達点にも違いはない
15. 「基礎」の小テストは、オンライン遠隔となる水曜のクラスでも実施しますか？
 - ・「基礎」の小テストは対面/遠隔を問わず、オンライン学習管理システム manaba により実施する。ただし不正行為防止のため、遠隔となるクラスのみ以下の制約があることを理解して履修すること
 - a) 問題と正解を示しての解説は割愛する(これに代わる自習手段を提供し、得点は個々に通知)
 - b) 解答する間、ビデオオンでの zoom 接続を義務づける
 - c) 横浜キャンパスで受験するばあい、授業補助者を配置する所定の教室での受験を義務づける
16. オンライン遠隔授業となった場合、自分の好きな時間に(オンデマンドで)授業を受けられますか？
 - ・「基礎」「演習1」ともオンデマンドとはならない。授業時限内に取り組む課題、授業終了後短時間で提出

期限となる課題があり、遠隔授業の場合も毎週かならず開講曜時に授業を受けなければならない

17. 遠隔授業となった場合、自宅の情報通信環境をどう整えればよいでしょうか？

- ・オンライン遠隔開講となった場合、科目を問わず自宅で学習管理ツールの「manaba」、オンライン会議ツール（Zoom など）を使用できる環境が必要となる可能性が高い。詳細については大学からの指示を参照すること。なお、特に「演習 1」ではパーソナルコンピュータまたはタブレットの使用が望ましい（スマートフォンのディスプレイでは授業資料の閲覧等が困難）

C. 授業に関する不安について

18. 作文が苦手で、レポートも書いたことがありませんが、授業についていけますか？

- ・高校までの作文の経験に左右される部分は少ないが、自信がなければとりあえず「基礎」の履修をすすめる（ただし最短で確実にスキルを身につけたいばあいは、「演習 1」の履修がより好ましい）

19. 対人関係が苦手ですが、対面授業の場合はペアワークなどで困らないでしょうか？

- ・チャレンジしてほしいところだが、個々の相談には担当教員が応じる。「基礎」では教室定員の制限が続くかぎり、履修者の発話をともなう活動は原則として用いない

20. アルバイト（またはサークル、家業）で多忙ですが、課題の多い「演習 1」の授業についていけますか？

- ・予復習に毎週平均 2～6 時間ほど必要となる（月曜授業では金曜、木曜授業では月曜の課題提出が多い）

21. 健康上の困難があるのですが、授業についていけますか？

- ・上の質問の回答を参考に判断すること（健康、障がい、心理的問題などについての専門的な支援が必要なばあひ、積極的に総合支援室に相談することをすすめる）

以上